

りんご生育情報（5月号）



宮城県登米農業改良普及センター
(電話：0220-22-6127)

令和3年5月13日

1. 「ふじ」の生育状況

4月中旬に気温の高い時期があったことから開花始期は平年より1週間以上早くなりましたが、その後高温傾向と低温傾向を繰り返し、落花期は平年よりやや早くなりました(表1, 図1)。また、4月11日や27日頃の低温による降霜が一部のほ場で認められ、霜害の発生が懸念されています。

表1 生育状況結果(調査地: 東和町錦織, 品種: ふじ)

| | 発芽期 | 展葉期 | 開花始期 | 満開期 | 落花期 |
|--------|-------|-------|-------|------|-------|
| 本年 | 3月29日 | 4月5日 | 4月23日 | 5月5日 | 5月9日 |
| 前年 | 3月31日 | 4月9日 | 5月2日 | 5月4日 | 5月12日 |
| 平年 | 4月3日 | 4月12日 | 5月1日 | 5月5日 | 5月11日 |
| 前年差(日) | -2 | -4 | -9 | +1 | -3 |
| 平年差(日) | -5 | -7 | -8 | 0 | -2 |

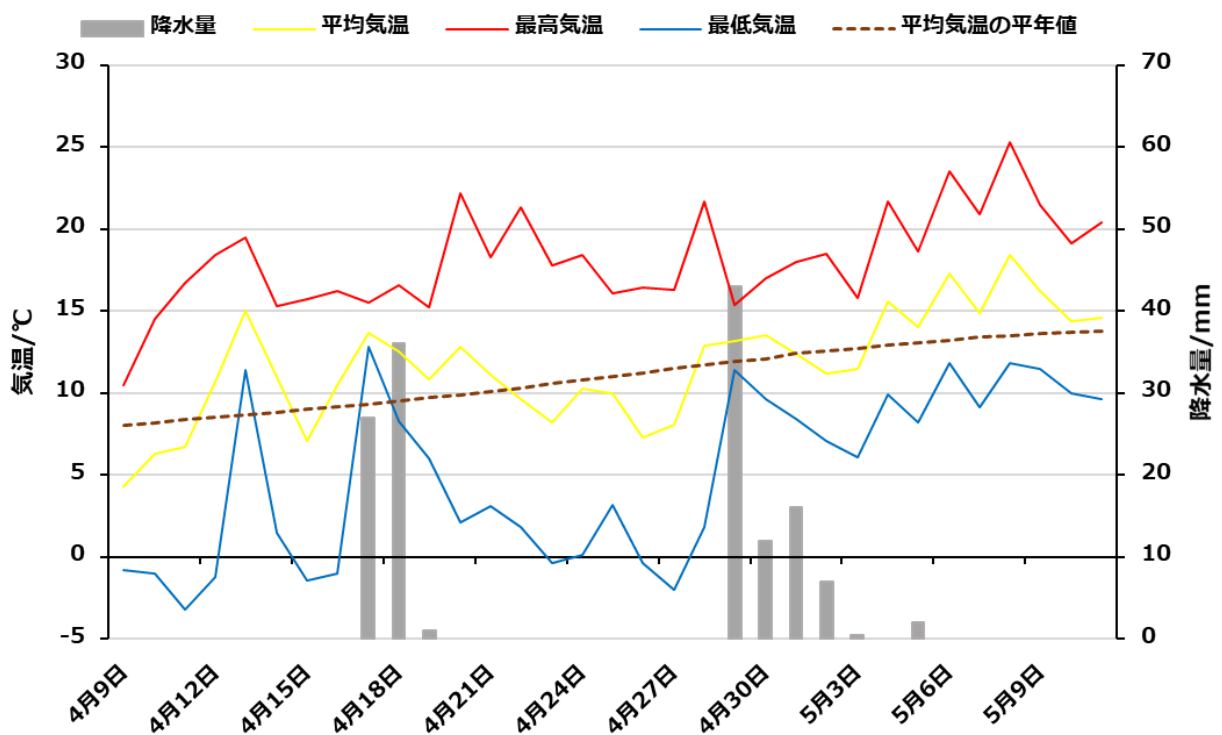


図1 4月9日～5月11日の気温・降水量推移(アメダス地点: 米山)



2. 今後の管理（摘果）について

発芽から開花までの生育には貯蔵養分が使われますので、結実が多ければその分貯蔵養分を多く消費します。果実の細胞分裂は、開花4週間後頃には停止し、それ以降の果実肥大は主に細胞の肥大によりますので、早期に摘果することで大玉果が期待できます。

(1) 人手による摘果

中心果のガク立ちを確認したら、着果位置の悪いもの（腋芽果、枝の真上・真下など）から果そうごと摘果します。落花10日頃までには、良好な中心果を残し1果そう1果とします。霜害が疑われる場合は、結実を確認してから摘果します。また、霜害を受けた果実はサビ果や奇形果になりやすいので、仕上げ摘果は障害がはっきりしてから行い、中心果に被害が多い場合は側果を利用するなど、樹勢に応じた着果量の確保に努めてください。

主要品種の適正な着果程度は表2のとおりです。ただし、樹勢など生育状況に応じて加減してください。特に、「ふじ」の場合は過着果すると隔年結果を起こしやすいので、成らせすぎないように注意してください。

仕上げ摘果の完了時期の目安は以下のとおりです。

- ・結実が良好な品種：**落花 25 日後まで** ※「ふじ」「つがる」「王林」など
- ・生理落花の多い品種：**落花 30～35 日後まで** ※「紅玉」「ジョナゴールド」など

(2) 薬剤による摘果

薬剤はミクロデナポン水和剤 85（倍率：1,200 倍、使用時期：満開後1～4週間）を使用します。この薬剤は、発育の遅れた生育の悪い果実に作用しますので、頂芽中心果と側果の発育に差があるほど高い効果が得られます。

散布時期は「**ふじ**」が**満開2週間後頃**、他の品種は満開3週間後頃が基本となります。果径で判断する際は、「**ふじ**」で**頂芽の中心果の横径8～10mm程度**が目安となります。摘果剤散布による落果は散布1週目頃から始まり、その後10日程度続きます。「ふじ」は果柄が黄変しても落果しにくいですが、手で触れると容易に落果するので、この頃から手摘みによる仕上げ摘果に入ります。

「つがる」、「ジョナゴールド」、「世界一」など年によりジューンドロップが多い品種や「ぐんま名月」は、本剤がかかると落ちすぎることがあるので注意してください。

参考：「りんご生産指導要項 2018-2019」（公益財団法人青森県りんご協会）
「果実日本 5月号 2020 vol.75」（日本園芸農業協同組合連合会）

※掲載されている農薬は令和3年5月1日現在の登録状況を確認しています。
使用する際は、事前に最新情報で農薬登録を確認の上、使用してください。

表2 標準的な着果程度

| 品種 | 摘果の強さ |
|------------------------------------|----------|
| 紅玉 | 3頂芽に1果 |
| つがる, ジョナゴールド | 3.5頂芽に1果 |
| ふじ, 王林, シナノゴールド, シナノスイート, ぐんま名月 など | 4頂芽に1果 |